

滝川市農業再生協議会 担い手育成部会 令和2年度事業計画

1 基本方針

- 認定農業者等の担い手が認定農業者制度のメリットを十分に享受し、農業経営の改善に資するよう、国の各種支援施策に関する情報の提供に努める。
- 将来の滝川農業を担う農業後継者等を対象に実践的、かつ総合的な研修を実施する。

2 事業計画

○担い手育成サポート事業

(1) 担い手育成・確保活動

① 認定農業者に対する農業経営改善計画等の指導・助言

農業経営改善計画の更新者等に、実効性のある計画を作成するための指導・助言を行う。

併せて、「新たな農業経営指標による自己チェック」シートの作成を支援する。

農業経営改善計画等の審議については、滝川市営農振興対策連絡協議会と連動し、構成するメンバーは滝川市営農振興対策連絡協議会に準じ、2部制をもって業務を進行する。

担い手育成部会においては、滝川市営農振興対策連絡協議会での（仮称）本体会議は（仮称）本体部会と置換え、（仮称）検討会議は（仮称）検討部会と置換え改善計画は（仮称）検討部会が審議し、新規就農者、新規参入法人等の改善計画は（仮称）本体部会において審議する。

必要に応じてたきかわ農業協同組合等を通じて経営者に指導及び助言を行うことで進め、農業経営改善計画等の審議をより活発に取り進める。

② 農業経営基盤強化対策

スマート農業を推進することで、省力化・低コスト化に向けたICT技術導入を推進するとともに、篤農家の知識・技術継承に向けた農業データの蓄積・活用などを通じて、地域全体の農業経営基盤の強化を図る。

(2) 講演会、研修会の開催

滝川市や認定農業者協議会等の農業関係機関と連携する中、農業者及び生産法人向けの研修会を実施する。

○滝川農業塾の拡張

将来の滝川農業を担う意欲にあふれた能力の高い優れた担い手を育成確保するため、農業経験の浅い農業後継者等を対象に、生産技術や経営管理技術の習得をはじめ、企画力・計画力・知識力等の様々な能力の向上やネットワークづくりなど実践的かつ総合的な研修を実施してきた。

平成24年度に開設して以来8年が経過し、塾カリキュラムもリフレッシュの時期を迎えている。また、各年度の卒塾生（OB、OG）同士の交流や情報交換が途絶えつつあることから、新たな研修や視察を企画することで卒塾生の交流を促進する。

令和2年度 滝川農業塾予算

【収入の部】

(単位:円)

項 目	R元予算額	R元決算額	R2予算額	増減 (R元-R2予算)	備 考
滝川農業塾補助金	2,000,000	2,000,000	1,000,000	△ 1,000,000	滝川市
貯金利息	0	10	0	0	
合 計	2,000,000	2,000,010	1,000,000	△ 1,000,000	

【支出の部】

(単位:円)

項 目		R元予算額	R元決算額	R2予算額	増減 (R元-R2予算)	備 考
旅費		615,000	331,086	350,000	△ 265,000	道外先進地視察研修等
需用費	消耗品費	380,000	223,993	200,000	△ 180,000	修了生(第7期生)修了証書、記念品等
	備品購入費	0	99,000	100,000	100,000	備品購入代
	燃料費	300,000	117,100	100,000	△ 200,000	北海道立農業大学校研修等
	食糧費	185,000	53,260	60,000	△ 125,000	北海道立農業大学校研修等
	報償費	30,000	16,140	30,000	0	道外先進地視察研修等
役務費	研修費	100,000	12,430	30,000	△ 70,000	北海道立農業大学校研修等
	手数料	50,000	11,400	30,000	△ 20,000	北海道立農業大学校研修等
	保険料	55,000	12,540	30,000	△ 25,000	北海道立農業大学校研修等
使用料 及び賃借料	使用料	240,000	41,170	50,000	△ 190,000	高速道路・有料道路料金等
	賃借料	45,000	8,800	20,000	△ 25,000	レンタカー代等
補助金戻入		0	1,073,091	0	0	
合 計		2,000,000	2,000,010	1,000,000	△ 1,000,000	